

普及現地情報

JAやつしろ千丁青壮年部第39回いぐさ多収競作会開催 (八代)

JAやつしろ千丁青壮年部では、若手生産者の技術研鑽を目的として、毎年七夕の時期にいぐさの出来高を競う「いぐさ多収競作会」を実施しており、本年は7月8日に開催されました。

いぐさ普及指導室ではJAやつしろと連携して、各ほ場で一定株数収穫したいぐさの評価を行いました。収穫された9点のいぐさについて、「先端」「根元」「硬軟」「草丈」「病害虫」などの項目を採点しました。最終的には泥染乾燥後に計量を行い、10a当りの収量を算出して順位が決定します。

本年は暖冬気味で推移し、観測史上最も遅い梅雨入りなどいぐさの生育にとっては必ずしもいい気象条件ではありませんでしたが、草丈は長く、充実した品質良好ないぐさが収穫できているようです。

いぐさ普及指導室では、生産されたいぐさの品質を活かして良質の畳表が製織できるように、加工技術面においても支援を行って参ります。



いぐさ評価状況



評価後の説明

種類：③

関連する普及課題名：いぐさ後継者の育成

HP掲載可否：可

連絡先：農業研究センターアグリシステム総合研究所

いぐさ普及指導室 淵上 国弘